

GREEN RANGER NEWS

2024年2月号 Vol.356



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

活動を楽しみながら未来へつなぐ

理事長 白内恵美子

今年は元旦から能登地方が大地震に見舞われ、またしても想定外の災害となりました。東日本大震災以降、毎年のように想定外の事態が発生し、今後は想定外ではなく全て想定内で考えなければならない時代なのだと思います。

能登半島大地震で亡くなられた方々のご冥福と、被災された方々が一日も早く日常を取り戻されることをお祈りいたします。

当会の活動は、2002年の大植林祭から20年が経ち、4つの森は順調に育ちつつあります。植林祭のたびに企業から参加して下さった方々と大量の苗木を植えたこと、あの辛かった猛暑の苗畑の草取り作業などが、今では懐かしく思い出されます。

2020年から昨年まで、コロナ禍により一般の方の参加を制限した活動が続いております。今年も大きなイベントはできそうにありません。そこで、イベントに振り回されることなく、会員が楽しみながら活動に参加できるようにしたいと思っています。たとえば、春を食べる会も自分たちだけなら準備も大変ではありません。山菜やキノコ、果実など、季節ごとの自然の恵みをみんなで楽しみたいですね。

今年は、木工や大木に名前を付けるなどの活動も行う予定です。体力に自信のない方も、植林地で心地よく過ごしていただきたいと思っています。

もうすぐ春！カタクリやスミレ、コブシやサクラなどが次々と咲き、森は彩り豊かとなり散策が楽しい季節となります。皆さん、ぜひ春の妖精たちに会いに来てください！

■12月の活動報告

- ・12月3日(日)残った作業の消化、冬季動物生態観察用カメラ設置

蔵王の山々が黒い谷筋を模様にして銀色に輝いている。雪は作業小屋近くの道脇にわずかに残っており、植林地内はうっすらと積もって、青空と眩しいほどの白さは葉を落とした植林木を際立たせている。

小鳥の森の小屋入口付近、落葉だけではない、いやにスッキリ感がある。ヤマハンノキの丸太が積みあがっているのを見ると、間伐をしたのであろう。知らぬ間にありがとうございました。その続きか、今日の作業は彩遊の森の間伐、チェーンソー2台出動、片付け班はノコギリ持参で出発。

木々の枝が青空にパズルの様な絵を描いている。間伐するヤマハンノキを物色、そして乾いたチェーンソーの音が山々にこだまする。

動物観察用カメラ班は、今年楽しませてくれたカメラ4台の撤去作業に向かう。広葉樹たちは今年もいっぱい葉っぱを落としてくれた様で、雪の下はふっかふか、足が沈むごとに枯葉のこすれる音がする。

午後、散策と冬用カメラの設置とに分かれた。カメラの設置が終わり、車を移動しに行ったSさんが手招きをし、小さな声で「キツネが何か啜えて道路のあちからやって来て、私に気づくと、反転して笹藪の方に逃げて行った」と言う。この時期、まさか人に遭うとは思っていなかったのだろう。相当慌てたのか、獲物を落として行った。大きい爪、太い毛、イノシシの脚と思われる。キツネは肉食に近い雑食性だと聞く、ネズミ・リス・ウサギまでなら想像もつく。イノシシは何かの犠牲になっていたのか、それとも自然の営みの変化を教えてくれているのか。私たちの帰った後、キツネは必死に大切な冬の食料を巣穴に運んでいるのだろうか。 参加者:6名



間伐中、彩遊の森

アカゲラ、メジロの巣

キツネの忘れ物

■今後の活動について

【総会】

2月11日(日)10:00 名取駅コミュニティプラザ 1階ホール

※欠席の方で委任状を送付していない方は、忘れずにハガキを送ってください。

【例会】

2月25日(日)10:00 スノーシューで歩く会 作業小屋集合